



7/22、レ・コード館開館20周年記念事業の「米村でんじろう サイエンスショー」が行われました。子どもたちはテレビでお馴染みの実験が始まると、驚きと感動の連続で大きな歓声を上げ、思い出に残る時間を過ごしました。



### 主な内容

一般質問 / 7 議員が 11 件を問う…… 3 P ~  
第 2 回定例会、補正予算審議…………… 11 P ~  
条例改正・補正予算審議 …………… 13 P ~

# 第2回定例会

平成29年第2回定例会は6月20日に招集され、休会をさみ26日まで開かれませんでした。

初日20日は、町長と教育長の行政報告、29年度7会計の補正予算の提案理由の説明を行い、各施設の経営報告を受理、条例改正などを可決しました。

最終日23日は、7名の議員による11件の一般質問の後、平成29年度補正予算を審議、各会計予算の採決を行い、原案のとおり可決しました。

また、全日程終了後町長から平成29年度一般会計補正予算が追加議案として提出されたためこれを議題とし、審議の結果原案のとおり可決しました。

## ● 6月定例会の全日程

1日目 (6月20日)

開会10:00 閉議14:02

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定
- 3 諸般の報告  
(閉会中の諸行事出席状況報告等)
- 4 行政報告
- 5 同意11件 (新冠町農業委員会委員の任命について)・・・同意
- 6 報告5件 (有限会社にいっぷほろしり乗馬クラブの経営状況の報告ほか)・・・受理
- 7 議案6件 (新冠町個人情報保護条例の一部を改正する条例ほか)・・・可決
- 8 議案7件 (一般会計補正予算ほか6会計の提案説明)

2日目 (6月23日)

開会10:00 閉議15:40

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 一般質問 (7議員11件)
- 3 議案7件 (一般会計補正予算ほか6会計の審議)・・・可決
- 4 発議3件 (意見書)・・・可決
- 5 会議案2件 (閉会中の継続調査)・・・可決
- 6 追加議案1件 (一般会計補正予算)・・・可決

## 平成29年第2回定例会

### 鳴海町長 行政報告

- ◆ J R日高線の復旧に向けた取組等について
- ◆ 後期高齢者医療保険料及び国民健康保険税の課税誤りについて
- ◆ 北海道農業振興対策資金融通事業に対する損失補償限度額について
- ◆ 新規就農者の就農状況について
- ◆ 第6次新冠町農業振興計画について
- ◆ 町道大狩部本郷井旗線白浜地先の法面崩壊について

### 山本教育長 教育行政報告

- ◆ 朝日小学校における単式学級維持の状況について
- ◆ レ・コード館事業について

## 新冠町農業委員会委員

### の選任について

【内容】新冠町農業委員会委員の任期満了に伴い新たな委員が選任されました。また制度改正によって選任方法が公選制から任命制に変わりました。新たな委員の方々は次の通りです。

- |      |    |       |
|------|----|-------|
| 金子正人 | さん | (字新栄) |
| 浅野正慶 | さん | (字太陽) |
| 前田 晃 | さん | (字東町) |
| 佐々木碧 | さん | (字高江) |
| 飛渡清一 | さん | (字朝日) |
| 鎌田直樹 | さん | (字太陽) |
| 梶川憲一 | さん | (字万世) |
| 泉澤敬治 | さん | (字若園) |
| 庄野照彦 | さん | (字東川) |
| 吉田忠夫 | さん | (字高江) |
| 片山 豊 | さん | (字若園) |



氏家良美議員

## 買物対策

問

### 生鮮食料品等の

### 買い物対策について

答

### 今後十分に協議、検討していく

氏家議員

所信表明において民間ストアーの誘致を目指す  
とあり、町長の考えが明らかになれば、出店の検討を始める事業者も出てくる可能性もあると考え3点伺う。

① 具体的にいつまでにどの程度の規模のスーパーをどこに誘致するのか。

② 出店が早期に実現しなかった場合の町の対応は。

③ 所信表明にあった移動店舗の導入、買い物ツアアの仕組みづくりはスーパー誘致が難しいと判断した場合、代替政策として実施するのか。またはスーパー誘致と同時進行で進めて行くものなのか。

鳴海町長

時期、規模、場所については今後協議が必要であると考えている。

② 誘致が早期に進まなかった場合の対応については、状況をみながら対応を協議、検討する。

③ いろいろな方策が考えられるので、町民ニーズにあったシステムの検討を進めていきたい。

氏家議員

どのように誘致を進めるのかという情報公開をし、同時に他の方策も講じながら、今の新冠町、未来の町民にとって必要な対策をとることが大切であると思うが、その考えは。

鳴海町長

今後十分な協議、検討をして動きがあり次第報告と相談をしたい。

## 行政運営

問

### 開かれた行政について

答

### 今後十分に協議、検討していく

氏家議員

所信表明において町政懇談会の実施、町民会議等の設置、政策の過程、現状など全ての情報を公開し、開かれた行政を実現する  
とあり、町議会のこととも言及されているので、町長の考える「開かれた行政」とは具体的にどのようなものなのか5点伺う。

① 今までの町政懇談会との違いは。

② 町民会議の設置とは常設の機関か。また、その構成員は。

③ 政策を進めるうえで相手方がいた場合の情報公開の対応は。

④ 今までの町議会との関わり方の違いは。

⑤ 新冠町において情報発信の手段



以前の町政懇談会の様子

として活用しているSNSはいくつあるか。また、新たに取り組もうとしているものはあるか。

### 鳴海町長

①どのような形態で実施するか開催時期等について協議、検討を進めて行く。

②組織のあり方、構成員は今後十分な検討をする。

③相手方に配慮しながら、慎重な対応に努めていきたい。

④これまでも役場内部での検討をはじめ、関係機関、有識者の意見をいただきながら十分な検討・協議を図り、議会とも協議、相談に努めより一層の情報提供、共有化に努めていきたい。

⑤町の取り組み、イベント情報などの地域情報発信を迅速に行うためフェイスブックを導入しており、町民に役立つ情報を基本として発信している。より効果的な方法が出てきた場合には導入の検討を図っていきたい。

### 氏家議員

町長のフェイスブックのページがあるが活用を図っては。

### 鳴海町長

フェイスブックの活用が自分の考え方や町政の動きなどの様々な対話のきっかけになることを考え、ホームページを含め情報を発信できるように検討していきたい。

## 診療所体制

問 これからの診療所体制は

答 強い信念と実行力を持って  
悲願の実現に最大限の努力を



長浜謙太郎議員

### 長浜議員

町長は所信表明において、国保診療所の有床化と健康増進について触れ、町民の不満や不安を早急に解消するため、病床再開の実現に向け積極的に取り組むと述べられた。就任約2カ月、相手もあり、本格的な動きが具体化してくるのかと思う、慎重に進めるべき重要案件であり、任期中に有床化を実現させるにあたり、期限を決めて取り組むべきとも考え、診療所の体制について4点伺う。

①負担金の発生している医療連携は早急に見直すのか。現状を維持しながら有床化を模索し、見通しが立てば解消となるのか。

②再び有床化となった場合、財政的負担は大きくのし掛かると思うが、財源確保の用途及び各種政策、特に将来に渡って影響は。

③医師を含めスタッフの確保には多くの困難を極めると思うが、現状どのように取り組みを進めているのか。

④これらを解決し、有床化に至るまでの具体的なスケジュールは。

### 鳴海町長

多くの町民から入院病床の再開を熱望する声に応えるためにも慎重かつ十分な協議検討を重ね、強い信念と実行力をもって悲願の実現に向けて最大限の努力をすることをまずはお伝えしたい。

①町単位での大きな約束事を見直すには、説明と協議、時間が必要となるので、今しばらく時間をいただきたい。

②10年後の診療所のあり方や、将来の町財政に与える影響等も見据えながらの検証となるが、各種財政の目的の検証し、負担を小さくする努力をしていく。

③幅広い確保対策を行いつつ、私自ら面談等にも出向き医師の確保に努めたい。看護師等についても、拙速な行動により失敗のできない大変難しい医療業界全体的な問題であるので、熟慮しながら公募時期を判断したい。

④地域と一体となった診療所とするためにも、スタッフと私が心を通じ合える関係になることは、必要不可欠と考えている。病床の再開のため環境の整備に全身全霊で取り組む所存であり、理解を願う。

### 長浜議員

動向を見極め、早い段階で明確な医療方針を打ち出し、周知徹底が図られることを望む。医療連携協定については、他に先駆けたモデルケースとして新たな地域医療のあり方を見出す可能性も秘めていると感じる。役割や機能を分担し、連携の充実を図りながら、負担金を含め医療連携のあり方を見直し、利用



新冠町立国民健康保険診療所

者目線に立ったサービスの向上、ハード面よりソフト面の強化を目指すことが最善かと思う。公共施設等管理計画に基づくと、平成31年度には診療所の改築が予定されており、それに合わせての判断が迫られるかとも思うが、これらの状況を踏まえた上で改めて有床化実現に向けての展望は、熱意は。

**鳴海町長**

即座にできるものについては、次定期例会に向けて協議したいと考えているが、時間を要する公約について、相手があることが多く、相手方の理解、また、体制作りの必要性を考えると任期中できるだけ早く政策の実現に向け、議会及び町民に報告と相談をし、行動したいと考えているので、ご理解を頂きたい。

**レ・コード館運営**

**問** 寄贈レコード100万枚達成を契機とした今後のレ・コード館の運営は



荒木正光議員

**答** 『レ・コード』の精神の再認識やPRを

**荒木議員**

平成3年に、100万枚のアナログレコードの収集を「思い出と共に預かります」と全国に呼び掛けたところから始まった、新冠町「レ・コード&音楽によるまちづくり」事業。レ・コード館が、本年開館20周年という記念すべき節目の年に、目標であった100万枚に達したことは喜ばしいことである。

①今後、集まったレコードをどのように活用していくのか。  
②データベース化が完了していない現状、どのように取り進めていくのか。

③心の回復、大切なものに帰る心など、レ・コード＝「RE・COR D」をまちづくりの原点として位置づけ、あらゆる施策の根底には「レ・コード」の持つ意味や精神が反映されている。

建物全体をレコードとプレイヤーに見立てたレ・コード館。トンアームやカートリッジに見立て、町全体がプレイヤーになっているレ・コードパーク。レ・コード館と「レ・コード」と言うユニークな造語の意義やコンセプトをこの契機に再認識し、見つめ直す良い機会として捉えるべき。

**山本教育長**

①聞いていただくことを重視し、懐かしいレコードを見ていただく工夫をし



開館20周年を迎えたレ・コード館

ながら、出張レコードコンサートや各種音楽事業等も継続実施していく。  
②データベース化は約42万枚（242万曲）で来館者のリクエストや検索要望に応える状況にある。今後は当町が発信してきた事業の責務でもあり、時間をかけても継続して完結させるまで取り組む。  
③レ・コード館は、多様な町民活動や行事の会場として一定の役割を果たしている。特に音楽を中心とする文化、芸術等の分野では館の存在自体が活動の幅を広げ、レ・コード館の精神を意識した事業展開に努めてきた。  
今後は、まちづくり観光の視点を踏まえ、今一度思い出や癒し等まちづくりのコンセプトを大事に「レ・コード」の精神の再認識やPRを含めて町部局とも十分に協議を深め進めていく。



レ・コード館内にある蓄音器とプレーヤー

**荒木議員**

数年前に、石川県金沢市にある蓄音器館を訪れる機会があった。金沢蓄音器館には、蓄音器約540台を保有し、140台が常設され、SPレコード約2万枚を所蔵し、聞き比べや蓄音器の構造等が解りやすく展示されている他、音楽イベントも開催されている。今後のレ・コード館の運営等の参考に見学する価値が十分あると思うので、町長を始め、関係職員等も一度は行く機会を設けてはと提案する。

**鳴海町長**

機会があれば訪問させてみたい。

**町名変更**

**問** 町名を親しみやすい『にいかっぶ』に  
**答** 『新しい冠』新冠に誇りと自信



堤 俊昭議員

**堤議員**

新冠の地名は、アイヌ語のニカブを漢字表記したもので、130年余り町民に親しまれた地名です。しかしながら、難読地名として取り上げられ、シンカン町と読まれることが多し。提案のきっかけは当町に移住された方の知人の8割が正しくニカブと読めなかったとの発言であった。近年ひらがな表記の「にいかっぶ」が多くなっている。「広報にいかっぶ」「にいかっぶ議会だより」「にいかっぶふるさと祭り」等表記に決まりはなく、えりも町、ニセコ町等も読みやすい、親しみやすいと考えひらがな表記にしたものと思う。定住・移住、交流人口の増加、各種産業振興やトップセールスの大きな力になると考え、町民にひらがな表記を周知し、意見交換を行い、最終的に住民投票により決定するプロセスが、町民主役のまちづくりになると思うが。

**鳴海町長**

道外の方々からは「新冠」は読みづらいとの指摘があるのは事実であり、近年読みやすさ、親しみやすさを求めひらがな表記にしている市町村も見受けられ、全国1718市町村の内2.9%の50市町村がひらがな表記となっているが、平成の大合併を機に名称変更した事例



目を引くサラブレッド大壁画

が多い。仮に名称変更する場合、条例、規則、要綱等すべてを見直す必要がある、さらに各種様式や印刷物、公共施設の表示の見直し等町民生活に影響を及ぼすことが予想され、また、一定の費用も必要なことから軽々に判断できないと同時に、馬産地として新しい冠の獲得に向け努力されている方々にとって「新冠」は非常に縁起の良い地名と思っており、自信と誇りを持っていく。また、歴史上いつ誰が「新冠」という字をあてたのかは判然としないが、名付けられた先人の苦勞に思いを馳せるとき、なぜ今地名を変える必要があるのかとの思いもあるが、公正・公平で、町民の声が生かされるまちづくりを進める上から今後町民から意見を聞く機会を設けたい。

## 今後の町政



武藤勝岡議員

**問** 『開かれた行政』とは？

**答** 3つの基本姿勢を  
肝に銘じ全力で取り組む

### 武藤議員

次の2点を伺う。  
①「開かれた行政」

の具体的内容について伺う。選挙戦中に出たものを見ると、「町民の声が生かされる行政」「分かりやすく公平公正な町政」「町民と行政の協働のまちづくり」を意味していると思うが、町長の考えは。  
②J R日高線の復旧についての町長の基本認識を伺う。現在、沿線自治体で新組織を立ち上げ11月中旬にも結論をと取り組んでいるが、現時点では「全線復旧を求めていく」という方向だが、町長はこの点を踏襲されていくのか。

### 鳴海町長

①具体的な方法については、今後十分な

検討・協議を進めるが政策の何が課題なのか、何を解決すべきなのか、どのような政策を展開すべきなのか、町民からの意見、要望に真摯に耳を傾け政策や事業に反映させていく。そのためには、「町民の声が生かされる町政」「分かりやすく公平公正な町政」「町民と行政の協働のまちづくり」の3つの基本姿勢を肝に銘じ、全力で取り組む。

②沿線自治体による一体となった取り組みが重要と考えており、管内7町長でJ R日高線の復旧を断念することなく、復旧に向けての取り組みが確認されており、私も

全線復旧を求めていくという基本姿勢に変わりはない。

## 社会教育

**問** レ・コードミュージアム  
専属学芸員の配置をすべきでは

**答** 現時点では考えず

### 武藤議員

このたびレコードの収集が目標の100万枚に達し、寄贈受付は終了することだが、今後のあり方に係わって2点伺う。

①今後の課題はレコードの活用。そのため、収集、保管、展示などを専門的に行う学芸員の配置が必要と思うが。

②収集レコードの入力加速のため、あらゆる可能性を追求し、データベースの更新、臨時職員を増員とボランティアの募集、ネットワーク等の活用などを早急に検討・具体化することが必要と思うが。



レ・コードミュージアム内の様子

### 山本教育長

①レ・コード館は、社会教育課が運営する施設で、教育的な事業を中心とした生涯学習施設としての施設運営に重きを置いていくべきと考え

ており、館運営に関しては音響あるいは照明をはじめとする多様な施設知識がなければ管理運営はしていかない。

②入力加速については、現在のシステム機器、あるいはシステムプログラムを更新、改修することが必要。ボランティアやテレワーク等の活用もシステム更新後でなければ、取り組めない事情もあり、次年度以降の予算措置に向けて、町担当部局との協議を行う。

### 武藤議員

今後レコードを活用していく上で、学芸員は必要と思う。町内、全国から寄せられたレコードを、次世代に繋げていくという役割を担っているが、貴重な資源を生かす段階にきている。レ・コード館は日本でも稀な施設で、資源を生かす町の姿勢も問われる内容なので、学芸員の配置を前向きに検討しては。

### 山本教育長

当面は100万枚集まったレコードのデータ入力作業を加速化させていきたい。指摘の点はまちづくりという観点も必要なので、町部

局と教育委員会との協議を進めていく。



100万枚の貴重な思い出たち

## 問 教員の長時間労働の改善を 答 取り組みを進める

### 武藤議員

教育問題について2点伺う。

①政府答弁書では、教育勅語の扱い方の判断を、自治体の教育委員会に委ねるとしている。教育勅語を道徳など教材として使うことは、憲法や教育基本法に反するものであり、教育現場に持ち込むべきではないと思うが、見解を伺う。②教員の長時間労働について伺う。文部科学省の2016年度の教員の勤務実態調査の結果はどうなっているか。また、中学校の部活指導の時間は、今年度から発足した「部活動指導員」の現状と今後の取り組みについて伺う。

### 山本教育長

①昭和23年に衆参両院で排除、失効決議

がされており、総合的に勘案して道徳の教科化に合わせて教育勅語を教材として使用することは考えていない。

②文部科学省の調査は、抽出調査で本町の学校は対象外。新冠中学校の部活動の状況は、平日は放課後2〜3時間程度で終わるよう工夫した取り組みを行っている。また月・木曜日、定期試験1週間前には部活動を休養日とするなど改善の取り組みを進め、部活動指導員の活用については、地域の方々が中学校の部活動に関わってもらうことは、今後運営しようとする

コミュニティスクールの考え方も必要との認識から体育協会等とも相談し、体制整備に向けた検討を進める。

### 武藤議員

教員の長時間労働の解消は大部分が国策に係わり町独自でやるのは限られるが、改善に努力すべきと思う。

### 山本教育長

教育委員会で調整できる範囲にも限界があるが、現場の教育活動に支障の及ぼすことのないように配慮したい。

※教育勅語〜家族国家観による忠君愛国主義と儒教的道徳を柱とした学校教育方針。



新冠中学校部活動の様子





但野裕之議員

## 問 ふるさと納税の見直しを

## 答 観光協会などと協議

### しながら進めたい

**但野議員**

ふるさと納税を通じて寄せられた資金を

子育てや教育、まちづくりなどに活用し、地域の活性化に成功している自治体が数ある中、本町の状況はどうだろうか。町長も代わり、公約を実現するにも元となる財源が必要である。国からの地方交付税に依存し、限りある財源では公約実現にも限度があると思われる。4月1日付けで、ふるさと納税の返礼品の送付等について総務大臣は通知を行っている。この通知を受け本町も見直しをするものと思われる。これを機に寄付件数と寄付金の呼び込みを図るために、ふるさと納税の窓口業務を観光協会に発注するなど体制を再構築し、貴重な財源確保で公約実現を目指すべきでは。

**鳴海町長**

当初寄付金者との関係を深めるため感謝

状を送付していたが、平成25年の総務省の調査により、約5割の自治体の特産品を送り一定の効果を得ている結果を受け平成26年度から返礼品を送り始め、平成27年度には7625件、8927万1000円の実績、昨年度は、主力返礼品の鮭・イクラの品薄と熊本地震の影響により3063件、3802万2000円と大幅に減少。本年4月に返礼

品は寄付額の3割以内との総務省からの通知があり、6月11日から

寄付設定額や返礼品の見直しを行った。ふるさと納税のメリットは寄付金による収入増だけでなく、自治体の知名度アップや地場産品の開発や生産意欲の向上などの効果が期待され魅力ある返礼品の開発が必要だが、有効な打開策は見いだせていない。観光協会への業務委託する方法も一つであり、全国的には3割近い自治体が行業者者に委託しているが、親切丁寧な対応で行政が窓口となり継続するが、観光協会など関係者と協議しながら進めたい。

**但野議員**

2016年ふるさと納税額が約33億円

で、全道1位になった根室市は、7月24日に寄付金の使い方を考えるふるさと納税サミットin根室を開催する。寄付額が全国上位で使い方に工夫を凝らしている自治体の事例報告や講演会を予定している。担当職員を派遣し、ふるさと納税の再構築の参考にすべきでは。

**鳴海町長**

根室市から案内が届き次第内容確認の上、検討したい。



一般質問を傍聴してみませんか。

第3回定例会は、9月に開会の予定です。

日程等は、議会事務局までお問い合わせください。  
(電話 47-2559)



返礼品の日高産熟成塩蔵さけ

# 『道みんなの日』 の町の対応は 出来得る限りの 協力をしたい

問

答

但野議員

道知事は、5月26日  
の定例記者会見で、  
3月定例道議会で制定された7  
月17日の「北海道みんなの日」  
(愛称道みんなの日)をPRした。  
1869年(明治2年)に松浦武  
四郎が明治政府に「北加伊道」  
(ほっかいどう)の名称を提案し  
た日にちなんだと説明。当日は記  
念式典を行うほか、博物館など道  
立施設を無料開放し、7月からは  
小中学校でも北海道の歴史や風  
土、文化、産業などについて理解

を深め、その再認識する日になれ  
ばとしているが、町に対しての働  
きかけは。他町の動きを含め、本  
町の道みんなの日に対する考え方を  
求める。

鳴海町長

道から日高振興局長名  
で通知があり、町民  
へのPRや普及啓発の依頼があつ  
た。道知事より同日札幌で開催さ  
れる記念式典及びレセプションへ  
の出席案内が届いており、出席予  
定としている。町としては特段の  
事業を実施する予定はないが、今  
後町政事務委託文書を通じたPR  
などの協力をしていきたい。7月  
中に予定されている小中学校での  
関連事業においても詳細は不明だ  
が、教育委員会と連携をとり最大  
限協力したい。管内各町において、  
現在特段の事業化の動きはないと  
聞いている。この条例制定の趣旨  
や目的は十分に理解できるので、  
町としても出来得る限りの協力を  
したい。



竹中進一議員

問

答

竹中議員

高齢者による事故が  
多く報道され、当町  
も団塊の世代が高齢運転者となる  
が、事故と運転免許返納の実態は  
どの様になっているか。自治体に  
よっては運転免許の自主返納され  
た方が運転経歴証明書の申請によ  
り、公共料金や、宿泊・温泉施設  
の割引や購入した商品の無料配達  
実施の例が有るが、新たな政策は  
取れないのか。本年3月に改正道  
路交通法が施行、強化されたの  
で、運転者自身の能力の把握や意  
識高揚のため研修やシミュレー  
ター体験に補助する考えは無い  
か。高齢者の事故はペダルの踏み  
間違いが多く、後付けの急発進防  
止装置やドライブレコーダーに組  
み込まれた前方衝突警告装置、さ  
らに、新車導入の際には安全機能  
が備わった車種を積極的に進める  
ため補助制度に取り組み考えは。

鳴海町長

高齢運転者は平成21  
年の道路交通法改正  
で免許更新時に認知機能検査が義  
務付けられ、本年の改正において  
認知症の恐れがある場合医師の診  
断が義務となり、認知症の場合免  
許停止・取り消しとなる。当町に  
おける高齢者の事故実態は、平成  
24～28年の5年間全体55件その  
うち65歳以上は14件で約25.5%、  
なお80歳以上の人口は642人  
で、今なお運転を行っている方は  
相当数いるので、自主返納の機会  
は必要と考える。平成28年65歳以  
上の運転免許所有者861人中返  
納は3名で、今後政府の方針に従  
い自主返納への取り組みが必要と  
なった場合実施していく。研修や  
シミュレーター体験は警察が主体  
となるべきで、そのサポート役で  
関わりを持ちたい。急発進防止装  
置等についての必要性は理解する  
が、安全性、効果が確立されてい  
ないのでこれからの情勢を見守り  
たい。

今後の推移を見守りたい

高齢運転による

事故の実態と防止対策

平成29年度

# 補正予算の審議

6月23日

## 一般会計（歳出）

【内容】既定予算に1億62224万円を追加し49億767万5千円とした。

## 総務費

### 町有林間伐事業

1534万5千円

### 武田議員

この事業の概略説明を求める。

島田産業課長

例年実施している人口造林、下刈り、間伐等で、昨年度予算算が大幅に減額となったことから当初予算で造林と下刈りのみ計上しており、間伐については道予算の割り当てがあつてから6月補正予算で計上するとしていたもの。

### 武田議員

町有林の適切な伐期、木材価格の相場という観点から見た現在の状況は。

島田産業課長

通常カラマツの伐期は30年、ト

ドマツは40年で実施するが、長伐期計画を用いて、それぞれ伐期を延ばしている状況。森林単価は、一時期大幅に単価を下げていたが近年は徐々に単価を上げている。

### 竹中議員

①現在列状間伐が主流となっているが、列状間伐で行うのか。  
②植栽してから何年経ったものが間伐されるのか。  
③間伐後売り払うということ、収支はどのようになるか。

島田産業課長

①間伐の際、地形の問題もあるが列状間伐を主体に間伐を行っている。  
②それぞれの生育状況もあり、それらを勘案し41年から50年の間に間伐を行いたい。  
③482万1000円を予算計上しており、減債基金に積み立てる。

※列状間伐は定量間伐の一種で斜面の上下に沿って列状（筋状）に間伐する方法。

### まちの不動産屋さん

### 武田議員

継続するも実績がないとの説明だが、実績のない理由をどう捉えているか。

原田企画課長

中古物件については、手数料をいただいても諸経費が上回り、不動産業者が仲介に消極的という実情があり、実績が伸びない。今後空き家対策として必要性は認識しているため検討を進めていく。

### 交通安全車両更新

279万8千円

### 武田議員

交通安全車両（公用車）購入の内容について伺う。

坂本総務課長

現在公用車は70台程で、職員が出張等で使用する車両はおよそ27台。その内12台程は軽自動車それぞれ役割を持って配置している。

## 民生費

### 認知症カフェ運営補助金

40万円

### 椎名議員

認知症カフェ運営補助金について、詳しい説明を求める。

鷹觜保健福祉課長

認知症の方や、認知症の方を家族に持つ方々が集まる場所づくりを支援するもの。認知症に関わる方の孤立化を防ぐということ、認知症の理解を地域に広げることが目的とする。

## 衛生費

### PCB廃棄物処理委託料

217万7千円

### 武田議員

今回で全ての処理は終了するか。

坂東町民生生活課長

町内の施設を再調査したところ、国保診療所に変圧器2基、高圧コンデンサー1基の計3基があり、PCBを含んでいる可能性がある。使用が終わった段階で調査し、PCBを含んでいた場合、法に従い処理・処分を行う。



認知症カフェの拠点となるえましあ

※PCB（ポリ塩化ビフェニル）の略称で昭和28年頃から製造された合成油。電気絶縁性、不燃性の特性によりトランス、コンデンサーの電気機器に幅広く使用されていた。

## 商工費

### 地域おこし協力隊活動補助金

100万円

#### 氏家議員

補助金を出す時の基準等はあるのか。

原田企画課長

地域おこし協力隊推進要綱というものがあり、地域おこし協力隊が活動地と同一市町村で起業する場合、1人あたり100万円を上限に交付する制度で、これに基づき町でも要綱を制定している。

#### 氏家議員

地域おこし協力隊は最終的に新冠町で起業し、根付くことが目的で、当町では初めてのケースとなり、経営安定のため一定程度の期間助言等を行ったり、関わりを持っていくことが必要と思うが。

原田企画課長

そういった体制は今後検討していきたい。

### 優駿浪漫街道オール日高

#### 魅力発信事業負担金

30万円

#### 武田議員

事業内容について、観光客の呼び込みが主と思うが、どのような取り組みを考えているのか。

原田企画課長

キャンペーンロゴマークの募集、各所で開催されるイベントへ出店しPR活動を行ったり、テレビやラジオ等による情報発信、高規格道路の厚賀開通の見込みの中で、開通直前にPRイベントを開通記念として行うようなことを考えている。

## 土木費

### グレーダー修繕費

65万8千円

#### 竹中議員

グレーダーのエンジンオイル漏れということだが、購入後何年経過したものか。

関口建設水道課長

対象のグレーダーは平成12年10月登録で、16年程度経過している。

#### 竹中議員

グレーダーであれば除雪等で使用していると思うが、頻繁に故障が発生するのでは不都合が生じ

る。安価ではないことは理解するが、入れ替えについて検討するべきではないかと思うが。

関口建設水道課長

入れ替えとなるとおそらく数千万円かかるものであり、従来補助金で購入してきている。必ず補助金を受けることができるとも限らないが、更新時期とも考えるため課内及び理事者とも協議していきたい。



更新時期を迎えるグレーダー

### 節婦ふれあいタウン

#### 公園遊具更新事業

1051万1千円

#### 但野議員

あおぞらの園児の利用が中心となるものとして更新すること



節婦ふれあいタウン遊具

だが4点伺う。  
①あおぞらの園児が利用する頻度は。  
②あおぞらの園児以外の地域の子どもの利用状況は。  
③新設後概ね建物の耐用年数は何年か。  
④この3点を考慮した上で費用対効果はどのように考えているのか。  
関口建設水道課長  
①1日10名程度を想定している。  
②節婦市街地における10歳未満の子どもで40名を想定している。  
③毎年点検を行う前提で20年と想定している。  
④町内第2の市街地ということ、保育所及び学校も閉鎖した中で1つは必要と考え今回予算計上するもの。

## 教育費

### 体力向上推進事業講師委託料

49万5千円

#### 武田議員

縄跳び、パフォーマンス集団を招聘ということで、子ども達にとっても非常に楽しみな事業と思うが、子ども達はもちろん大人も見ることが可能か。

#### 工藤管理課長

小中学校の児童・生徒、ドレミ園の園児へ周知し広く行いたい。事業は平日の日中となることから、一般の方の見学は難しいかと思うがそれも含め今後検討していきたい。

### 認定子ども園職員の状況

#### 武田議員

認定子ども園ドレミの子どもの人数が増えている中で、現在の職員体制を伺う。

#### 工藤管理課長

正職員13名、臨時職員17名合わせて30名体制となっている。

#### 武田議員

4月に新たな保育教諭も採用となっているが現状は。

#### 工藤管理課長

4月1日付けで2名の新採用職

員を配置しており、徐々に業務、行事等にも慣れてきたということ。職員一丸となって取り組んでいる。

#### 武田議員

認定子ども園の園児数の推移について伺う。

#### 工藤管理課長

現在園児数は168名、昨年度末179名、平成27年度末153名となっており、ほぼ同様の人数で推移するものと考えている。

### 昭和音楽大学ウインド

#### シンフォニー特別公演

300万円

#### 荒木議員

20周年記念事業として公演されるということだが、開催日は決定しているのか。また、決定しているのであれば公演内容もわかる範囲でお願いしたい。

#### 湊社会教育課長

例年2月に開催している新冠町、昭和音楽大学のパートナーシップコンサート記念事業として実施するものであり、平成30年2月24日を予定している。例年のパートナーシップコンサートをアレンジし、20周年ということから町内に根付いた文化サークル、合唱サークルと合わせ平成9年開館時の「飛翔にいかづぶ」を再現

したいと考えている。なお、費用300万円の内訳については、半額の150万円を道補助金で賄う予定。

#### 荒木議員

費用について、道補助金を充当させることだが、一般の入場料の徴収は行う予定か。

#### 湊社会教育課長

例年同様若干徴収したいと考えている。



パートナーシップコンサート

### 第2回定例会

## 審議した議案

#### ◎個人情報保護条例の改正

【内容】マイナンバー制度を活用し行政機関や地方公共団体が相互に特定個人情報やりとりするための関係条文を改正するもの。

(原案可決)

#### ◎行政不服審査関係

##### 手数料条例の制定

【内容】行政不服審査に係る書類や資料の閲覧又は交付に係る手数料の納付、減額及び免除について規定するもの。

(原案可決)

#### ◎過疎地域の指定に伴う

##### 固定資産税の課税の

##### 特例に関する条例の改正

【内容】過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域の活性化対策として、固定資産税の課税免除に関する事項を定め、改正事項は課税免除の対象業種を改正するもの。

(原案可決)

#### 荒木議員

町内において、課税免除の対象となる農林水産物の事業所はあるか。

#### 佐藤税務課長

今回の改正は、29年4月1日適用となるため、現状対象となる事業所はない。今後対象となる事業所が出てくるかは分からないが、免除対象の事業が促進され過疎地域の活性化を図るのが法の趣旨と考える。

#### 荒木議員

今後の対象者のため、法の周知は行うのか。

佐藤税務課長

制度内容及び概要を周知したい。

### ◎温泉保養施設設置条例の改正

【内容】宿泊料の上限額を改正するもの。

大人 8600円↓9800円

こども6400円↓7000円

※宿泊料は時期によって変動があります。

(原案可決)

### ◎簡易水道設置条例の改正

【内容】現在簡易水道事業の認可を3本で取得しているが、1本に統合し認可を受けなければならなくなったことから所要の改正をするもの。

(原案可決)

## 追加した議案

平成29年6月23日

内容は新冠温泉プラントの水槽からの漏水を確認したため補修工事を行うものです。

## 一般会計(歳出)

【内容】既定予算に9936千円を追加し、49億1761万1千円とした。

平成29年度

## 補正予算の審議

5月9日

平成29年 第2回 臨時会

### 農林水産業費

#### 野菜促成栽培施設 整備事業補助金

143万5千円

竹中議員

強風被害のあった翌日に即刻専決処分ということだが、以前の大雪災害時に補助を行った補助額の決定に至る経過について伺う。

島田産業課長

農耕期については、原則的に農業共済制度に加入していただき損失補填に対応することとなるが、大雪災害の時期は農耕期ではないため原則補填することはできないが、特例扱いということで補助率2分の1補助を行った経過がある。

竹中議員

今回の強風被害の、全壊に対する1棟あたりの金額は。

島田産業課長

1棟あたりの建設単価が約70万円であり、今回の補助率が30%の

ため21万円となる。

### 第2回臨時会

## 審議した議案

### ◎税条例の改正

【内容】地方税法の改正により所要の改正をするもの。

(原案可決)

### ◎国民健康保険条例の改正

【内容】国民健康保険税の課税に係る軽減判定の、5割軽減及び2割軽減に使用する基準額を引き上げるもの。

(原案可決)

### ◎特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の改正

【内容】子ども・子育て支援新制度の改正による、ひとり親世帯及び多子世帯等に係る保育負担額の軽減を図るための条例の一部改正。

(原案可決)

## 各委員会の活動状況

平成29年5月～7月

総務産業常任委員会

○5月9日

・委員長及び副委員長の互選

○5月30日

・温泉保養施設設置条例の改正

・個人情報保護条例の改正

・行政不服審査手数料条例の制定

・簡易水道設置条例

・簡易水道事業給水条例

・高江八木排水樋管の経過

・過疎地域の固定資産税特例

・国民健康保険税の過誤課税

○6月23日

・農業支援員の対象拡充

・婚活支援事業の取り組み

・緑丘町有地の利活用

社会文教常任委員会

○5月9日

・委員長及び副委員長の互選

○6月6日

・恵寿荘入所者の事故

・朝日小学校単式学級維持

・スクールバス接触事故

・寄贈レコード100万枚達成

・国民健康保険税の過誤課税

・後期高齢者医療保険料の誤り

## 委員会について

社会経済の進展から、町（役場）の仕事は多様化し、大変複雑になっています。

よって、議会に提出される議案も数多く内容も幅広く、本会議だけでは能率的に処理することが、議員が全てを理解することが困難になります。

このような問題に対処するため、議会の内部組織として、分野ごとに専門的な調査・研究を行うために12人の議員を分けて委員会を構成しています。

委員会には常設される『常任委員会』、『議会運営委員会』と必要がある場合に設置される『特別委員会』があります。

新冠町の常任委員会は「総務産業常任委員会」、「社会文教常任委員会」、「議会広報常任委員会」の3つが設置されています。

一方、特別委員会とは臨時特定の事件について設置されるので、その事件の調査や審査が終了すると消滅します。

平成29年第2回臨時会において、委員会の体制が任期満了のため一新されました。各委員会の体制は下記のとおりです。

## 《 構成 図 》

### 新冠町議会

#### 議会運営委員会

#### 常任委員会

#### 総務産業常任委員会

#### 社会文教常任委員会

#### 議会広報常任委員会

#### 総務産業常任委員会

主にまちづくり、行財政、税、防災、商工、観光、産業、土木等の分野を取り扱います。

委員長 武田 修一  
副委員長 須崎 栄子  
委員 椎名 徳次  
委員 武藤 勝因  
委員 堤 俊昭  
委員 秋山 三津男  
委員 竹中 進一  
委員 但野 裕之

#### 社会文教常任委員会

主に福祉、衛生、医療、学校教育、社会教育、文化等の分野を取り扱います。

委員長 秋山 三津男  
副委員長 氏家 良美  
委員 長浜 謙太郎  
委員 荒木 正光  
委員 武田 修一  
委員 堤 俊昭  
委員 竹中 進一  
委員 但野 裕之

#### 議会広報常任委員会

議会だよりの編集及び発行や議会広報と広聴の調査・研究を行います。

委員長 竹中 進一  
副委員長 長浜 謙太郎  
委員 須崎 栄子  
委員 荒木 正光  
委員 但野 裕之

#### 議会運営委員会

円滑な議会運営を図るため、議事の日程や審議の手順等を協議します。

委員長 堤 俊昭  
副委員長 荒木 正光  
委員 氏家 良美  
委員 武田 修一  
委員 秋山 三津男  
委員 但野 裕之

※議長は、職責によりどの委員会にも出席する権限を有し、一つの委員会に所属することは適当ではありません。

# こころ

～私にとっての新冠～



字東町 大澤 憲吾さん

生まれも育ちも新冠である私にとって新冠とは、私の中の宝物です。海に山に川、年を重ねても何も変わらず優しく受け入れてくれるそんな自然溢れた素晴らしい町であると私は思います。

私は現在『東出電設工業(株)』に勤めており、自分の生まれ育った町で、お客様からの『ありがとう』の言葉を聞ける事に大変喜びを感じながら日々を過ごしております。お世話になった新冠にこれからも少しずつ自分なりの恩返しが出来たらと思います。

また、去年から縁が御座いまして商工会青年部に所属させて頂き、ふるさと祭りなどその他一年を通して様々な活動に参加させていただいております。

これからも新冠の良さを皆さんと少しでも多く分かち合っていければ凄く嬉しいです。

# Topics 議会のお話

## 議員研修会に参加しました ～北海道町村議会議員研修会～

7月4日～5日、札幌市で例年行われている議員研修会に参加しました。

1日目は札幌コンベンションセンターにて、全道の町村議会議員が一堂に集結し受講。慶應義塾大学経済学部教授の金子勝さん、NHK解説主幹の島田敏男さんの話に真剣に耳を傾けました。

2日目は株式会社北海道サニックス環境苦小牧工場を見学し、世界初のプラスチック燃料専焼発電の説明を受け研鑽を深めました。

この研修を機に議員としての質を高めてよりよいまちづくりに貢献していきます。



講師 金子 勝 氏

# あとがき

その日が近づくに連れて感じる胸の高鳴りも、今と昔では違った立場で迎える「ふるさとまつり」。今年もたくさんさんの笑顔と思いやりで賑わう中、無事に終わりました。

幼少期から学生時代まで、私たちがお祭りで味わった「ふるさと感」それを支えてくれたのは、子どもたちを思い、楽しく過ごせるように設えてくれた地域愛に満ち溢れた大人たちの存在でした。

これからは「ふるさと」を感じてもらおう場を提供する側として、同じ思いを紡いでくれる事を願いながら、次の世代へ伝え繋ぐことの意味を噛み締めて参ります。

祭り事。まつりごと。政：祭政一致  
誇れる未来の為に。

今号のあとがき担当  
長浜 謙太郎

## 議会広報常任委員会

- 委員長 竹中 進一
- 副委員長 長 謙太郎
- 委員 須崎 栄子
- 委員 荒木 正光
- 委員 但野 裕之

発行責任者  
長芳 住革 二

この議会だよりは、会議録に基づいて議会広報常任委員会が内容を要約し、掲載しています。新冠町議会の情報は町ホームページでご覧いただけます。また、レ・コード館図書プラザに「閲覧用会議録」を配備していますのでお気軽にご覧ください。【年4回発行】